

教えて先生！

## 小寺 実のQ&A



### 第4回 「治せる認知症」

Q1.

いわゆる「認知症」には、どのような種類がありますか

A1.

多い順に、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭葉型認知症などがあります。脳梗塞や脳出血が原因となる「血管性認知症」は、高血圧症など危険因子を治療することにより予防は可能です。一番多い「アルツハイマー型認知症」は薬などにより症状を緩和させ、進行を穏やかにすることは可能ですが、残念ながら完治は望めません。



Q2.

「治せる認知症」があると聞きました教えてください。

A2.

何らかの病気に主因がある認知症(的症)は治せます。今回は特に4つの病気についてお話ししましょう。

うつ病の特殊な症状として現れる「仮性認知症」は抗うつ薬で治ります。歩行障害と尿失禁が認められる「正常圧水頭症」はCTで診断でき、シャント術で治せます。胃がんなどで胃切除を受けた方や内因子に対する抗体ができた場合などB12が腸管から吸収されない状態で発症する「B12欠乏症」や「橋本病」による認知症は採血で診断可能で、これも内科的な治療で治すことができます。

このように認知症には特異的な治療で完治しうる疾患が潜んでいる場合があります。

まずは神経内科専門医を受診することをお勧めします。

